

2. 2022年度「正味財産増減計算書」
(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位:円)

勘定科目	2022年度	2021年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	250,000	250,000	0
基本財産受取配当金	0	4,500,000	△ 4,500,000
基本財産運用益計	250,000	4,750,000	△ 4,500,000
② 受取寄付金			
受取寄付金	0	13,000,000	△ 13,000,000
受取寄付金 計	0	13,000,000	△ 13,000,000
③ 特定資産運用益			
特定資産受取利息	13	6	7
特定資産運用益計	13	6	7
④ 雑収益			
受取利息	48	43	5
雑収益計	48	43	5
事業活動収入計	250,061	17,750,049	△ 17,499,988
(2) 経常費用			
① 事業費			
会議費	153,380	206,000	△ 52,620
旅費交通費	29,650	32,920	△ 3,270
通信運搬費	14,541	10,698	3,843
消耗品費	0	6,078	△ 6,078
印刷製本費	0	0	0
租税公課	0	0	0
賃借料	0	0	0
リース料	133,164	133,164	0
支払助成金	4,000,000	10,000,000	△ 6,000,000
雑費	2,090	69,980	△ 67,890
予備費	0	0	0
事業費計	4,332,825	10,458,840	△ 6,126,015
② 管理費			
会議費	214,611	188,099	26,512
旅費交通費	285,500	300,360	△ 14,860
通信運搬費	12,420	25,827	△ 13,407
消耗品費	44,059	3,392	40,667
租税公課	0	4,594	△ 4,594
賃借料	0	0	0
リース料	44,388	44,388	0
支払利息	0	0	0
雑費	90,145	373,796	△ 283,651
管理費計	691,123	940,456	△ 249,333
経常費用計	5,023,948	11,399,296	△ 6,375,348
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,773,887	6,350,753	△ 11,124,640
当期経常増減額	△ 4,773,887	6,350,753	△ 11,124,640
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 4,773,887	6,350,753	△ 11,124,640
当期一般正味財産増減額	△ 4,773,887	6,350,753	△ 11,124,640
一般正味財産期首残高	8,277,099	1,926,346	6,350,753
一般正味財産期末残高	3,503,212	8,277,099	△ 4,773,887
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	250,000	250,000	0
基本財産受取配当金	0	4,500,000	△ 4,500,000
一般正味財産への振替額	△ 250,000	△ 4,750,000	4,500,000
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価損	△ 220,000	△ 98,980,000	98,760,000
基本財産売却損	△ 330,338,264	0	△ 330,338,264
当期指定正味財産増減額	△ 330,558,264	△ 98,980,000	△ 231,578,264
指定正味財産期首残高	399,210,000	498,190,000	△ 98,980,000
指定正味財産期末残高	68,651,736	399,210,000	△ 330,558,264
III 正味財産期末残高	72,154,948	407,487,099	△ 335,332,151

5. 2022年度「財務諸表に対する注記」

1. 継続事業の前提に関する注記

なし

2. 重要な会計方針

(1) 「公益法人会計基準の運用指針」(内閣府公益認定等委員会. 平成20年4月11日)

同指針に従って作成した。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

1) 満期保有目的の債券

償却原価法(定額法)によっている。

2) その他の有価証券

時価のあるものは、期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

特になし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	2021年度末残高	当期増加額	当期減少額	2022年度末残高
基本財産				
投資有価証券(国債)	50,660,000	0	220,000	50,440,000
投資有価証券(株式)	349,200,000	0	349,200,000	0
普通預金	0	18,861,736		18,861,736
小計	399,860,000	18,861,736	349,420,000	69,301,736
特定資産				
預金(周年記念事業準備資金)	1,200,009	400,013	0	1,600,022
小計	1,200,009	400,013	0	1,600,022
合計	401,060,009	19,261,749	349,420,000	70,901,758

5. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	2022年度末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券(国債)	50,440,000	50,440,000	0	0
普通預金	18,861,736	18,211,736	650,000	0
特定資産				
預金(周年記念事業準備資金)	1,600,022	0	1,600,022	0
合計	70,901,758	68,651,736	2,250,022	0

6. 担保に供している資産

なし

7. 固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高

なし

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

なし

9. 保証債務等の偶発債務

なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債(10年国債、償還日:2024年9月20日)	50,000,000	50,440,000	440,000

2022年3月31日現在

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

なし

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

なし

13. 関係当事者との取引、重要な後発事象、その他

なし

2022年度 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載済につき省略

2. 引当金の明細

財務諸表に対する注記に記載済につき省略

6. 2022年度「財産目録」
(2023年3月31日現在)

貸借対照表科目		場所・物療等	使用目的	金額(円)
(流動資産)				
	現金	なし		
	普通預金	北陸銀行本店営業部	次年度の事業費に使用	1,253,190
流動資産合計				1,253,190
(固定資産)				
基本財産	土地	なし		
	建物	なし		
	美術品	なし		
	投資有価証券	国債(額面5,000万円)	公益目的保有財産であり、	50,440,000
	普通預金	北陸銀行本店営業部	運用益を公益目的事業に 使用する。	18,861,736
基本財産合計				69,301,736
特定資産	周年記念事業準備資金	北陸銀行本店営業部	創立40周年記念事業に使用	1,600,022
	退職給付引当資産	なし		
特定資産合計				1,600,022
その他固定資産				
固定資産合計				70,901,758
資産合計				72,154,948
(流動負債)				
	未払金	なし		
	短期借入金	なし		
流動負債合計				0
(固定負債)				
	退職給付引当金	なし		
	長期借入金	なし		
固定負債合計				0
負債合計				0
正味財産合計				72,154,948